

取扱説明書

このたびは、スリック製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき、正しく十分に性能を生かしてお使いください。

お読みになったあとは必ず保管し、わからないときには再読してください。

⚠ 注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

🚫 禁止 このマークは禁止（してはいけないこと）内容です。

説明にしたがい事故のないようお使いください。

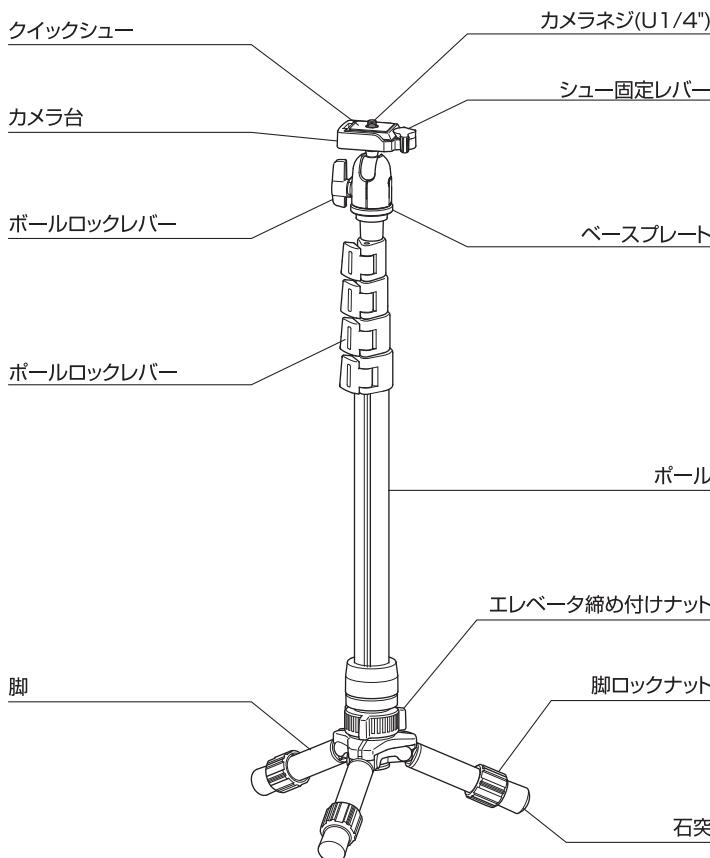
仕様

縮長	620 mm
全高	1,540 mm
質量	680 g

Q700

三脚ケース付

各部名称



搭載する機材

🚫 禁止

この製品は、1kgまでの機材を載せるように作られています。
これ以上の機材は、載せないでください。
また、1kg以下のものであっても重心位置によりバランスの取りにくいものもあります。
本製品は一般の三脚のように安定しませんので、使用中は必ずそばについて離れないでください。

持ち運びの時

🚫 禁止



カメラは三脚や一脚から外して持ち運んでください。
カメラの落下、使用者や周囲の人へのケガ、物損等を起こす可能性があります。

機材の取り付けとセットアップ

使用上の注意

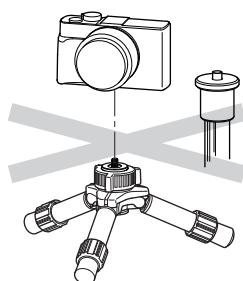
⚠ 注意



使用中は必ずそばについて離れないでください。製品が転倒して破損の恐れがあります。

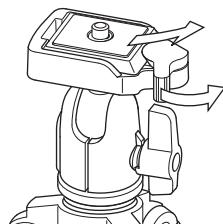
雲台取り付けネジ

🚫 禁止

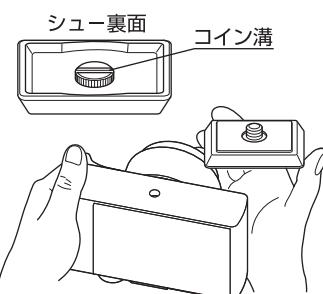


カメラを直接三脚やポールに取り付けることは故障の原因になります。
雲台などを介してお取り付けください。

カメラの取り付け方

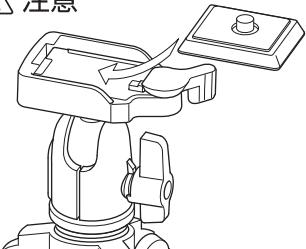


シュー固定レバーを矢印方向に起し、
クイックシューを取り出してください。
このときシュー固定レバーは、
ストッパーにより起きた状態になって
いますので、無理にもどさないように
注意してください。



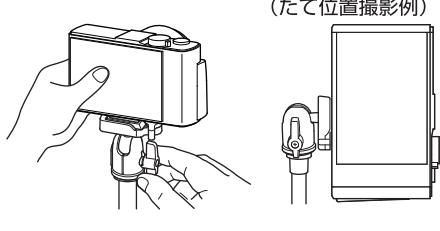
カメラの三脚取り付けネジと
クイックシューのカメラネジを
合わせ、コイン等を使いしっかりと
ねじ込みます。

⚠ 注意



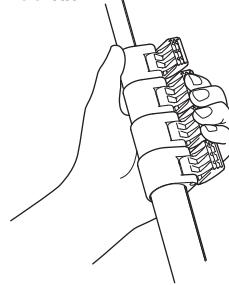
クイックシューをレバー側から
斜めに滑らすように取り付けます。
取り付けるとシュー固定レバーは自動的に閉じますが、さらにレバーを固定側に締め確実に固定します。

雲台の使い方



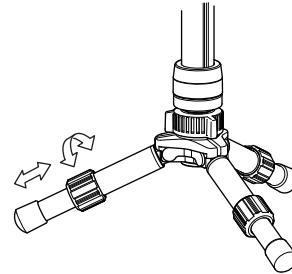
カメラをささえながらポールロックレバーをゆるめると、カメラ台はフリーになり、ベースプレートも回転します。角度を決めてポールロックレバーをしっかりと締め付けてください。

ポールの伸縮



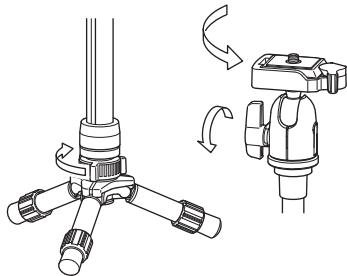
ポールロックレバーを起こすと脚の伸縮がフリーになります。倒すと固定します。起し方が十分でないとスムーズに動かないことがあります。

脚の伸ばし方



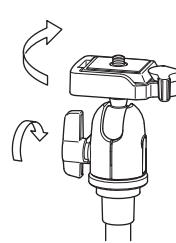
脚ロックナットをゆるめると、脚は伸縮します。位置がきいたら、しっかりと脚ロックナットを締めつけてください。

雲台の取り外し



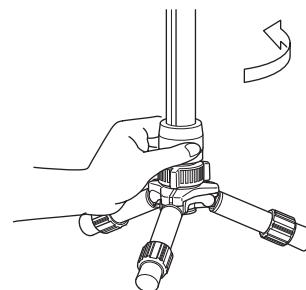
始めに、本体部のエレベータを締め付けナットでしっかりと固定します。
次に、雲台のポールロックレバーをしっかりと締め込みます。雲台を握って力強く反時計方向に雲台をまわします。これで雲台がゆるみます。

雲台の取り付け



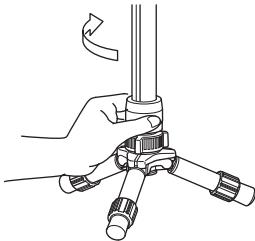
雲台(アクセサリー)とポール上部のネジを合わせます。
雲台を時計まわりに止まるまで回します。
ポールロックレバーをきつく締めて、雲台をさらに時計まわりにねじ込みます。

ポールの取り外し



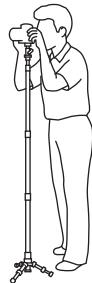
始めに、本体部のエレベータ締め付けナットをしっかりと締め込みます。次に、ポールを握って力強く反時計まわりにポールを回します。

ポールの取り付け

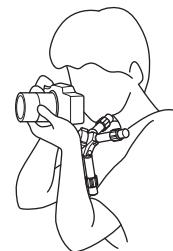


始めに、本体部のエレベータ締め付けナットをしっかりと締め込みます。
次に、ポールと三脚のネジを合わせます。
ポールを時計まわりにねじ込みます。

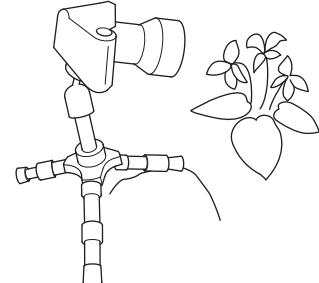
使用例



脚部を広げることにより一脚使用時よりも安定した撮影を行うことができます。



ポールを取り外すことによってテーブル三脚として使用することができます。
三脚を胸にあてがえば手ブレを防止できます。望遠撮影やスローシャッター時に威力を発揮します。



地面や床において使えばローポジションでの撮影が可能です。

○ 禁止



- 三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補充は絶対にしないでください。
破損、故障の原因となります。
- 可動部の動きが悪くなってきた場合は、お買い求めの販売店またはアフターサービスへご依頼ください。
- 火に近づけないようにしてください。
夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。

お手入れ

- よがれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。
その後、きれいな乾いた布でふいてください。

本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を保有しております。
したがって本期間中は修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ <http://www.slik.co.jp/>

*改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますので了承ください。
©2015 SLIK CORPORATION